

【概要】

2月8日、COVID-19感染防止指導委員会の報告及び各副大臣、代表者からの意見を聴取したあと、グエン・スアン・フック首相は以下のとおり意見を述べた。

1. 首相は、ハイズオン省、クアンニン省、ホーチミン市、ハノイ市、ハイフォン市、ザーライ省などの各地方の保健当局が厳格な措置を、総力を挙げて遅滞なく実施していることを高く評価した。

2. ホーチミン市、ハノイ市での新たなクラスターの発生により、感染のリスクが高まっている。首相は、ホーチミン市とハノイ市の党及び政府の各レベルが、厳格なゾーニング、隔離、追跡、広い範囲における検査を実施するよう指示し、感染を早期に制圧し、市中感染を広げないように要請。

ホーチミン市およびハノイ市の人民委員長は、自らの権限において、首相指示第15号及び第16号に基づき、感染リスクのレベルに応じて、地域における封鎖、社会隔離の実施を決定する。

保健省は、ホーチミン市感染防止前線指令局を即座に設置し、ホーチミン市が早期に感染を制圧できるよう指導、支援すること。

3. 各省および中央直轄市の人民委員長への指示

(a) 5Kの実施についての指導を強化すること。まずはマスク着用と大人数での集会回避を要請し、違反者には厳格に処分すること。

(b) 葬儀、式典、宗教行事、忘年会、結婚式などに多くの人々が集まることを最大限抑制するように呼びかけること。新年の花火の打ち上げは中止とする。

(c) テトの時期における往来を最大限抑制するよう働きかける。各企業、生産工場、従業員に対して、テト期間にも活動すること、（移動せず）その場で生活を行うことを呼びかける。

(d) すべての必要不可欠なリソース（人材、物資、製品、道具、野戦病院など）を精査、準備し、最悪な感染状況にも対応できるようにすること。政策や制度面の問題改善に関心を払い、特にテトの時期において、現実的な方法をもって感染防止対策に当たる勢力を支援すること。

(d) ハノイ市、ホーチミン市、ハイフォン市などの大都市を含む各都市は、より強い感染防止措置を主体的に決定すること。実現可能性を考慮し、あらゆるシナリオを想定して慎重に準備をし、多くの感染者が出た場合にも対応できるようにする。すでに感染者が発生している地方においては、最善策をもって感染制圧ができるように感染防止措置の厳格な実施に向けた指導を強化する。

(e) 14日間の集団隔離を実施するよう指導する。

4. 保健省は、リスクが高い地域の住民に対してより広い範囲で検査を行う。各地区の感染防止指導委員会に対して常に情報を共有し、任務を引継ぎ、必要な時

に支援を行う。

5. 関係各省庁、各省人民委員会は、感染防止のための物資、人々の生活必需品が不足するような事態を発生させないように生産や供給について指示をすること。ハノイ市、ホーチミン市はコロナ禍において、人々の生活必需品の備蓄を行うこと。

6. 公安、軍、市場管理当局は、新たな感染状況において状態を悪化させないように安全、秩序維持のための措置を強化すること。

7. 各報道機関は、引き続き情報をアップデートし、人々が危機感を持ち、感染防止を強化できるようにする。